

みずほCustomer Desk Report 2019/03/06 号(As of 2019/03/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.91 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.79	1.1337	126.73	1.3177	0.7091
SYD-NY High	112.13	1.1341	126.93	1.3198	0.7097
SYD-NY Low	111.73	1.1290	126.36	1.3097	0.7059
NY 5:00 PM	111.88	1.1307	126.52	1.3179	0.7084
NY DOW	25,806.63	▲ 13.02	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,576.36	▲ 1.21	日本10年債	0.0000	0.00bp
S&P	2,789.65	▲ 3.16	米国2年債	2.5456	0.51bp
日経平均	21,726.28	▲ 95.76	米国5年債	2.5285	0.01bp
TOPIX	1,619.23	▲ 8.36	米国10年債	2.7178	▲ 0.54bp
シカゴ日経先物	21,690.00	5.00	独10年債	0.1655	0.30bp
ロンドンFT	7,183.43	49.04	英10年債	1.2860	1.35bp
DAX	11,620.74	28.08	豪10年債	2.1540	▲ 3.00bp
ハンセン指数	28,961.60	2.01	USDJPY 1M Vol	5.39	▲ 0.32%
上海総合	3,054.25	26.67	USDJPY 3M Vol	5.87	▲ 0.18%
NY金	1,284.70	▲ 2.80	USDJPY 6M Vol	6.59	▲ 0.12%
WTI	56.56	▲ 0.03	USDJPY 1M 25RR	-0.71	Yen Call Over
CRB指数	181.90	0.80	EURJPY 3M Vol	6.73	▲ 0.12%
ドルインデックス	96.85	0.17	EURJPY 6M Vol	7.45	▲ 0.07%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月5日	12:30	豪 RBAキャッシュレート	3月 1.5%	1.5%
	18:00	欧 マークイットユーロ圏サービス業PMI	2月 52.8	52.3
	22:00	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁「景気へのリスクが高まる中、忍耐強く景気を見極める」		
	23:30	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁「米国はまだ最大雇用には達していない」		
3月6日	00:00	米 ISM非製造業指数	2月 59.7	57.4

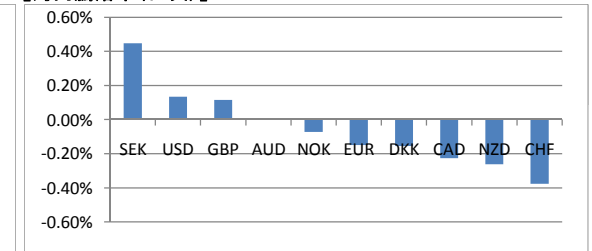
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月6日	09:30	豪 GDP(前期比/前年比)	4Q 0.3%/2.6%	0.3%/2.8%
	22:15	米 ADP雇用統計	2月 190k	213k
	22:30	米 貿易収支	12月 -\$57.9b	-\$49.3b
3月7日	00:00	加 カナダ翌日物貸出金利	- 1.75%	1.75%
	02:00	米 ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁講演	-	-
	02:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁講演	-	-
	04:00	米 ページブック公表	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.30—112.30	1.125000—1.1400	126.00—127.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は方向感のない展開。市場予想を上回った12月の新築住宅販売件数やISM非製造業指数を受けて一時112.13円まで上昇したものの、112円台では上値重く、米金利低下もあり111円台後半に売り戻された。本日のドル円は111円台後半で方向感なく推移すると予想する。112円では上値の重さが意識される中、今週金曜日には米2月雇用統計の発表を控え様子見姿勢が強く111円台後半でのレンジ推移となりそうだ。

東京	東京時間のドル円は111.79レベルでスタート。五・十日による実需のドル買いワローから、午前は111.90台迄上昇するも、中国の2月のサービス業PMIが4ヶ月ぶりの低水準だったことを背景に111.80付近迄下落。しかし、午後に入り日経平均株価の下げ幅縮小などをを受けてじりじりと上昇し、高値111.96まで上昇し、111.95レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.95レベルでオープン。材料は特になく111.87-99円の狭いレンジで取引され111.92レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1330でオープン、じりじりと1.1316まで低下したが、2月の伊・仏・独2月サードPMI(フランス、ドイツは改定値)が予想を上回ったことを受けて買い戻されるが続き。その後はもみ合って1.1324レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3161レベルでオープン、英2月サービス業PMIが予想を上回ると1.3198まで買い戻される場面もあったが、LDN昼過ぎにブリュッセル訪問中のコックス法務長官がバルニエEU交渉官との本日の会談で新たな進展はないとの見解が英政府側から出ると1.3113まで下落し、1.3122レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は五・十日に伴う実需のドル買いにサポートされ、112円手前で底堅く推移。その後、小幅反落し111.92レベルでNYオープン。特段の材料は見当たらない中、NY朝方はドル売りが先行し111.79まで下落。その後、米2月ISM非製造業指数が予想を上回ったことから、ドル買いの流れとなったことで高値112.13まで上昇。しかし、この水準では利益確定売りから上値を押さえられ、直ぐに111円台に押し戻される。NY午後は米金利の低下にドル売りが強まり、111.80まで反落。売り一巡後は、手掛りが乏しい中、小動きとなり、111.88レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.1316-1.1339の狭いレンジでの推移となり、1.1324レベルでNYオープン。NY午前は米経済指標を好感したドル買いから下げ足を早め、2月19日以来の水準となる安値1.1290をつける。その後、米金利の低下を受けたドル売りの影響から1.1310まで反発。7日にECB理事会を控える中、様子見ムードが強まり、同水準で小動きとなり、1.1307レベルでクロス。その他、5日NY早朝にローゼン格林・ボストン連銀総裁の講演原稿が事前に発表されており「米経済へのリスクが解消されるかどうか判断できるまであと数回のFOMC会合を要するかもしれない」と述べたが、特段材料視されず、ドル円、ユーロドルへの影響は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:玉井・田家